

中学校区におけるめざす子ども  
・積極的、主体的に学び続ける子  
・自ら学び、共に考える子

令和7年度 重点目標

【生徒指導力の向上】【信頼させる教職員の育成】【生徒の自己肯定感の向上】

確かな学びの現状

- 授業での教科学習においては、落ち着いた環境で授業を受けるということがしっかりできている。
- 基礎・基本の定着を図り、ICTの効果的活用と言語活動の充実を図っている。
- チャレンジテストの対府平均を見ると、項目別にまだまだ課題がある。

豊かな心・健やかな体の現状

- 全ての生徒が友人や教師と良好な人間関係を築けるように、対話を中心に取り組んでいる。
- 学校でのあらゆる教育活動を通じて、生徒の自尊感情と自己肯定感を高めることができる集団作りを進めている。
- 本校の生徒は、体を動かすことに積極的であり、部活動の入部率も高いことから、体育と部活動の両面から体力の向上を図っている。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～11月)	達成状況(年度末)			
								自己評価	学校関係者評価		
確かな学び	基礎学力	【基礎学力の定着】 自身の課題を発見し、取組むことができる。 【読解力の向上】 文章を正確に読み取り、理解する。	英語と数学において、習熟度別指導の実施。	チャレンジテストにおける府平均を目標。	各調査	3学期	数・英 1年生で実施	△	数学・英語において府平均を目標に取り組んできたが、85%の達成率であった。「読書が好き」の目標に対し、60%の達成率と今後の取組みに課題が残る。また、給食開始に伴い、昼休憩が短くなったことで、図書館の利用率は横ばいとなった。	○	数学・英語とも85%を達成しているのので、引き続き基礎学力の定着に向けて取り組んでほしい。
			読書の習慣づけ。(朝読・図書館の活用)	読書が好き60%以上。図書館利用率。	各調査 実績回数	3学期		△	○	読書離れが進む中、50%達成できているのは評価できる。引き続き活性化に取り組んでほしい。	
	ICTを活用した授業改善の推進。 子どもたちが目標をもって参加し、わかる授業を実施する。			全教科で場面に応じてICTを活用した授業を推進する。	各教科週1回以上の活用80%以上。	アンケート	3学期	概ね予定通り取組んでいる	△	活用回数は教科の特性や個人差により66%と目標値を下回ったが、主体的・対話的な学び92%、検索力・伝える力は85%と目標を大きく上回ることができた。今後は更に校内研修の質を高め、進んでいる実践例の共有を図り、ICT活用の定着に取り組む。	△
対話的・主体的な授業展開の実施。				グループで話し合い・発表する70%以上。	アンケート	3学期	○		○	○	
検索力・伝える力を育成する授業の実施。				タブレットを使ってしらべる80%以上。	アンケート	3学期	△		○	○	
豊かな心・健やかな体	豊かな心	授業・学校行事など、あらゆる教育活動の場で、生徒の主体性を重視し、生徒の自尊感情・自己肯定感を高める。	学年行事や学校行事を生徒が中心となって運営し、成功体験を積ませる。	学校行事に満足している80%以上。	アンケート	3学期	概ね予定通り取組んでいる	○	生徒の主体性を重視し、取り組んできた結果、全ての項目において、目標値を上回る結果となった。次年度は、学校風土調査を基に、学校全体でより良い環境づくりに取り組む。	○	アンケート結果からも学校全体で生徒の主体性を育む取組が見て取れる。また、ここ数年、生徒・学校の様子が改善されてきていると感じる。課題のある生徒を「切り捨てる」のではなく、ひとつでも課題をクリア出来るよう育成に取り組んでほしい。
			生徒会を中心に規律ある過ごしやすい学校生活を提唱する。	学校のきまりやルールを守る90%以上。	アンケート	3学期		○		○	
			「あいさつ・拍手・ありがとう」をキーワードに、あらゆる教育活動の場で人権教育を実施する。	相手の気持ちを考え、行動している80%以上。	アンケート	3学期		△		○	
健やかな体		健康的な体づくりと体力の向上を図る。	部活動の加入率80%を目指し、活発な取組みで体力を向上させる。	部活動加入率。	観察 加入率	3学期	全体73% 3年生女子の加入率が低い(27%) 小中の養護教諭の情報交換会の実施と保健だより毎月発行	△	加入率73%で未達成。3年女子が30%以下と低いことが課題である。実態を踏まえ、参加しやすい部活動の在り方を検討する。健康的な身体づくりへの取組みは小中養護教諭の定例会及び情報発信で意識を高めることができた。	○	市全体で生徒数・部活数が減少傾向にあるなか、積極的に部活動に取り組んでくれている。また、養護教諭の小中間連携を進めるなど、地域での「健康的な体づくり」に取り組むなど評価できる。
			健康的な体づくりへの意識を高めるため、積極的な情報発信を行う。	集会・配布物での意識づけ。小中連携での取組み。	実績回数 観察	3学期		○		○	
地域共同	信頼される学校	地域・家庭への積極的な情報発信と地域との連携・協働を意識した活動を行う。	ホームページや学校通信等を通じて積極的に情報を発信する。	ホームページへのアクセス数。 ・学校通信等の発行数。	実績回数	3学期	学校通信7回発行 (11月時点) 市民オリンピック及び自治会行事に積極的に参加	○	学校通信及びホームページを通して積極的な情報発信ができた。地域行事への参加は市民オリンピック・防災訓練に多くの生徒が参加でき、アンケート結果も	○	学校通信・ホームページや自治会への参加を通して積極的な情報発信をしてくれている。また、今年度は防災訓練をはじめとした多くの地域行事に生徒・教員が参加してくれた。次年度も引き続き地域との連携・協働に取り組んでほしい。
			地域行事への生徒・教員の積極的な参加。	地域行事に参加している肯定的回答70%以上。	アンケート	3学期		○		○	

校長より(年度末)

本年度は、活発で前向きな生徒の姿に支えられ、学校行事は大きな成果を収めることができました。また、地域行事にも多くの生徒が積極的に参加し、本校の良さを地域に発信することができました。

一方で、基礎学力の定着には課題が残りました。小学校との連携を一層深めるとともに、授業改善を継続し、確かな学力の育成に努めてまいります。

次年度は、学校全体でより良い風土づくりを進め、生徒一人ひとりが安心して挑戦できる学校づくりを推進するとともに、地域との協働をさらに発展させていきます。

学校関係者評価者から(年度末)

基礎学力の定着においては目標値85%達成は、授業改善等の成果として評価できる。読書についても、本離れが進む中で50%を達成した点は意義深い。課題のある生徒にも丁寧に寄り、改善に取り組んでいる姿勢や地域との連携・協働も評価できる。

一方で、学力の更なる向上や読書習慣の定着など、引き続き取り組むべき課題も見られる。これまでの成果を基盤としながら、次年度も一層の充実に向けて努力されることを期待する。